

2004年4月

< 報道関係各位 >

## 都市景観と環境に配慮した新『壁面緑化システム』を開発

「愛・地球博(2005年)」でも展示決定

建築緑化システム研究会

「花と緑」が身近にある生活環境都市づくりを提案する目的で発足した「建築緑化システム研究会(会長:中村幹也、会員:8社、所在地:東京都西新宿、岡谷鋼機株式会社内)は、このほど環境に配慮し、従来の壁面緑化の発想を超えて膜材料を初めて使用(特許申請中)した新『壁面緑化システム』を開発、2004年6月から、本格販売を開始します。

この新『壁面緑化システム』は、リサイクル可能な環境型のケナフ繊維で出来たパネル(1,500mm角)にバラなど季節の草花を植え込む布製ポットが集まり、緑化パネルが構成されるものです。

布地と布製ポットには、二酸化炭素固定量が多く環境保全植物のケナフ繊維を採用、この布には、防汚効果の高い光触媒コーティングが塗布され、パネル全体が環境にも十分配慮したものとなっています。

こうしたエコロジカルな布の採用で、建物壁面、外構柵、室内パーティションなど建物内外の垂直面に緑化パネルを自由にレイアウトして使用。布の軽やかさ、明るさ、透明感を活かすことで、新しい緑化システムが可能になり、とくに従来の壁面緑化では出来なかった「美しさ」や「彩りの華やかさ」、さらには「心が和む」といった心理的、精神的効果も発揮する新タイプの『壁面緑化システム』です。

屋内、屋外用などのシリーズでの発売を予定しており、また液晶パネルやLEDパネル等との組み合わせも可能で、いろいろな用途展開が可能です。価格は、1平方メートル当たり10万円(緑化パネル本体価格)を予定しており、初年度の売上目標は1億円を見込んでいます。

なお、2005年に開催される「愛・地球博」の会場内において、季節の草花で彩られたこの新『壁面緑化システム』が、約240平方メートルにわたり、繰り広げられることが決定しております。

「愛・地球博」は、「バイオラング」という新しい環境マネジメントの発想のもとで環境技術に取り組んでおり、今回の新『壁面緑化システム』は、都市空間に先端の環境技術のひとつとして、来場者の注目を集めるものとして期待しております。

新『壁面緑化システム』の概要は下記のとおりです。

## 新『壁面緑化システム』概要

### <特 徴>

生地と布製ポットには、二酸化炭素固定量が多い環境保全型植物を採用、焼却時にダイオキシンを発生しないエコロジー商品。また、布には光触媒コーティングが施され、防汚効果が高い。

布採用で、システム全体は軽量化が図られ、施工も早く、使用箇所が幅広い。ポットごと草花が簡単に取り替えることができ、メンテナンスが容易。

布地には、文字など自由にプリント可能で、情報発信メディアとして利用可能。さらに液晶パネルやLEDパネルとの組み合わせも可能。

<サイズ> 一枚の基本パネルは、1,500mm角

<価格> 1平方メートル当たり10万円（緑化パネル本体価格）

\* 添付写真

<この件に関するお問い合わせ先>

建築緑化システム研究会

事務局：東京都新宿区西新宿3-7-1

岡谷鋼機株式会社 開発本部内

担 当：後藤 電話：03-5323-3204

E-mail：gotouk@okaya.co.jp

## < 参 考 >

### 建築緑化システム研究会について

#### 設立趣旨

現代日本の都市問題は、ヒートアイランド問題、地球環境温暖化問題、廃棄物処理問題や、子供への虐待など人と人の心の問題に到るまで広がっています。都市化による緑の減少は人の心の荒廃に結びつく、と指摘する専門家もいます。「建築緑化システム研究会」は、建築外装、屋上緑化、壁面緑化、室内緑化など様々な用途、事例を意識し、現代の新しい技術（IT、太陽光・風力発電、光触媒等）を取り入れ、建築や都市にかかわる様々な場面での緑化の研究、開発を行う事で、都市に彩りや精神的豊かさをもたらす事を目標に設立されました。

#### 発足日

2003年11月27日

会員者：岡谷鋼機株式会社  
岡谷マート株式会社  
株式会社日本設計  
京成開発株式会社  
京成バラ園芸株式会社  
株式会社クリアテラ  
株式会社クリアテラネットワーク  
太陽工業株式会社

以上